

鬼灯（ほおづき）

News Letter

2019年

8月

中国四国農政局
愛媛県拠点

Iターンでイチゴ観光農園 まるイチゴファーム

伊予市で観光農園「まるイチゴファーム」を営んでいるIターン農業者の柳澤清一さんにお話を伺いました。

柳澤さんは大阪出身でサラリーマンをしていましたが、いつかは自分で事業を起こすことを目指していました。

きっかけは、イチゴ観光農園へ遊びに行き「人を楽しませる仕事」観光農園に興味を持ったことでした。大阪周辺でも開園場所を探しましたが中々見つからず、妻の実家がある伊予市で就農することを決意しました。



Iターンで就農した柳澤さん



自力で建設したハウスで次シーズンの準備中

イチゴは、愛媛県オリジナル品種「紅い雫」、「あまおとめ」を中心に栽培しており、観光農園来場者からは色々な品種が喜ばれるため、品種数を徐々に増やす（昨シーズン7品種、現在8品種を栽培）予定で、栽培技術向上のため、就農当時から他のイチゴ栽培農家と情報交換を行っています。

「今後は、栽培技術の向上は当然のこととして、アルバイトを年間通して雇用できるよう、夏場の仕事としてイチゴの加工品製造など新たな事業展開を考えていきたい。」と熱く語るとともに、「就農（起業）を目指すには、自分のやりたいことを明確にし、資金を含めた準備が大切です。」と冷静に語られました。

愛媛県立農業大学校で2年間の農業研修を受けて平成24年に就農し、自力で建設したハウスでイチゴ栽培をスタート、待望の観光農園を平成26年2月にオープンさせました。5シーズン目を迎え、インターネットやタウン誌などによるPRでリピーターも多く、たくさんの方に来園いただいているとのこと。

現在、施設イチゴ13a、水稻46a、いちじく3aを栽培。観光農園営業期間中を中心にアルバイト1名を雇用していますが、それ以外は一人に対応しています。夏場には、各地域のイベントで冷凍していたイチゴのスムージー販売も行っています。



イベントで販売する自家製のイチゴスムージー
（まるイチゴファーム提供）

「あふてらす 農林漁業はじめるサイト」 を開設しました



農林水産業は、国民への食料の安定供給や国土・生物の保全等重要な役割を担っており、国の基（もと）を成すものですが、日本の農林水産業は担い手の高齢化や減少が課題となっています。

一方、近年、農業法人等での雇用が拡大し、若手の新規就業者数が比較的高い水準で推移するなど、明るい兆しも見られます。

しかしながら、これまで農林水産業と繋がりのなかった皆さんが「農林水産業について知りたい！始めたい！」と思っても、品目、規模、地域、本人のスキルなどによって、仕事の選び方、始め方はさまざまであり、どこを見て、どこに相談したらよいか分かりにくい状況でした。

農林水産省は、農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方や、これから始めたい方向けの情報を発信するポータルサイト「あふてらす 農林漁業はじめるサイト」を開設しました。



© 2019 農林水産省

そこで、農林水産省は、

- 農林水産業との関わりがなかった皆さんへの一次産業の魅力の紹介
- 農林水産業に仕事として関わりたい人のための全国各地の求人情報や就業支援フェア等の開催情報の提供
- 就業に当たっての支援制度や関連する情報の提供
- 生産品の6次産業化や付加価値の向上に挑戦するための情報の提供

を目的とするポータルサイト「あふてらす 農林漁業はじめるサイト」を開設しました。

令和という新しい時代に、新たな世界に一步踏み出すために、「あふてらす 農林漁業はじめるサイト」をぜひ御活用ください

詳しい内容についてはこちらをご覧ください。

農林水産省ホームページ（あふてらす 農林漁業をはじめるサイト）

http://www.maff.go.jp/j/aff_terrace/index.html

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177(代) FAX(089)932-1872 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>